

# TOTO

## 電気温水器付洗面化粧台（自動水栓）

LDA606AYH・LDA606BYH・LDA756AYH・LDA756BYH

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 1) 安全上の注意

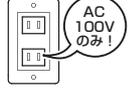
- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

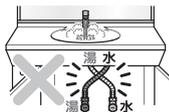
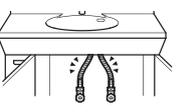
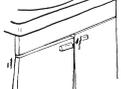
表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	--	---	---

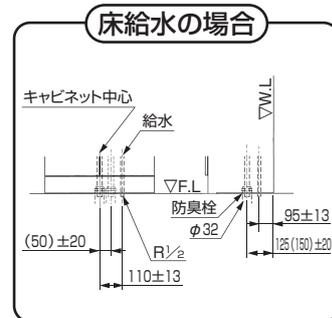
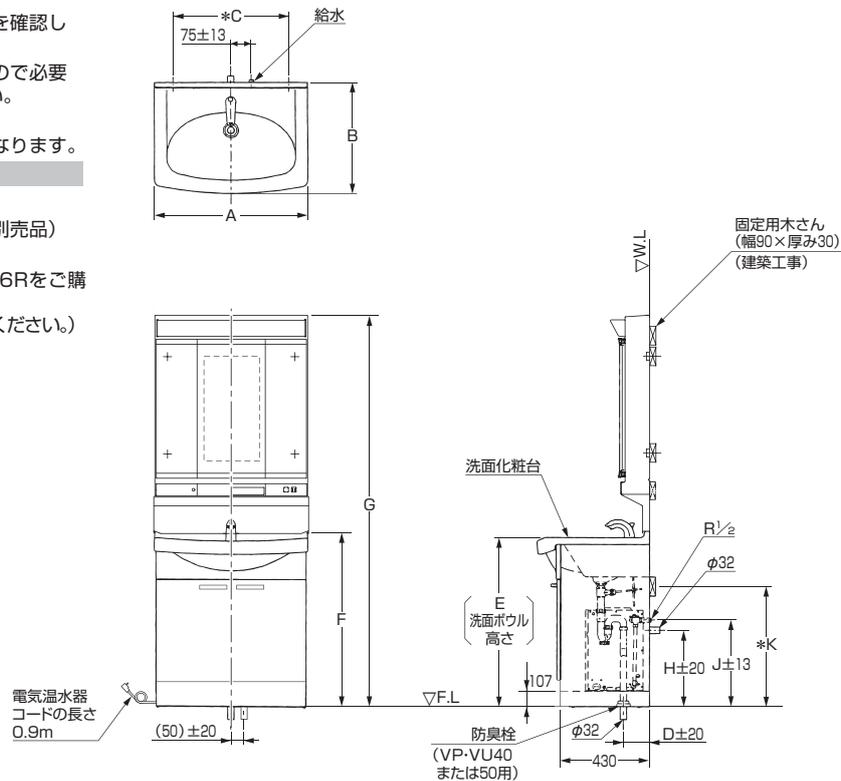
●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。  
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告	
<p>浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電するおそれがあります。</p> <p> 禁止</p> <p></p>	<p>電源コードを傷つけない 漏電および火災の原因になります。 特に壁固定の際は気を付けてください。</p> <p> 禁止</p> <p></p>
<p>電源はAC100Vを使用する AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>	<p>壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>
<p>アース工事を行う（D種接地工事） また、漏電遮断器を取り付ける 漏電により感電するおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>	<p>電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・指定業者」が行う 火災や感電および水漏れの原因になります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>

注意			
<p>水道水以外は通水しない 井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れの原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p>タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない 空焚きとなり故障・事故の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p>湯・水を逆に配管しない 水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p> <p></p>	<p>カウンター・洗面ボウルの上のらない 故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p> <p></p>
<p>必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける 凍結した場合、破損し水漏れする原因になります。</p> <p> 必ず実行</p>	<p>凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>	<p>取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>	<p>取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p> <p></p>

## 2) 設置寸法

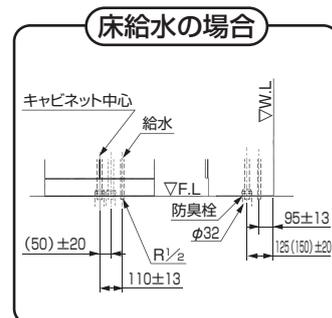
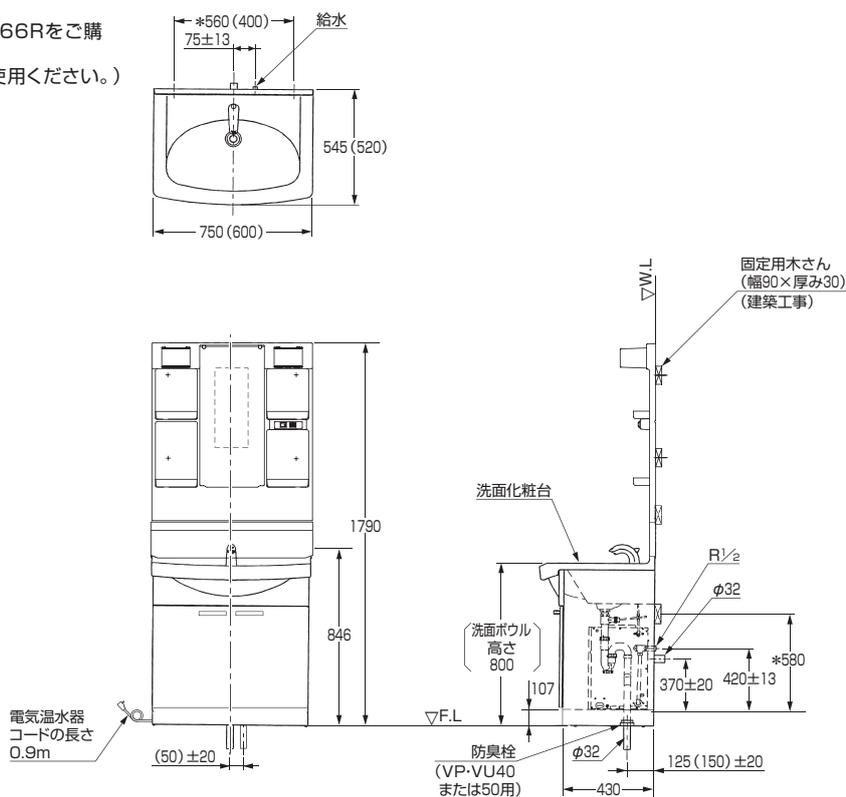
- 特注品の場合の設置寸法は商品図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA756BYHタイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- \*印は、木ねじ位置を示します。
- ( ) 寸法は600サイズを示します。
- 床給水の場合は床給水ユニット (別売品) L087をご購入ください。
- 樹脂配管をご使用の場合は、L066Rをご購入ください。  
(洗面化粧台に付属の止水栓をご使用ください。)



洗面化粧台製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDA606AYH	600	520	400	150	750	796	1850	320	370	530
LDA606BYH	600	520	400	150	800	846	1900	370	420	580
LDA756AYH	750	545	560	125	750	796	1850	320	370	530
LDA756BYH	750	545	560	125	800	846	1900	370	420	580

### 【H=1800対応：一面鏡・三面鏡の場合】

- 特注品の場合の取付寸法は商品図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L094をご購入ください。
- 図はLDA756BYHタイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- \*印は、木ねじ位置を示します。
- ( ) 寸法は600サイズを示します。
- 床給水の場合は床給水ユニット (別売品) L087をご購入ください。
- 樹脂配管をご使用の場合は、L066Rをご購入ください。  
(洗面化粧台に付属の止水栓をご使用ください。)

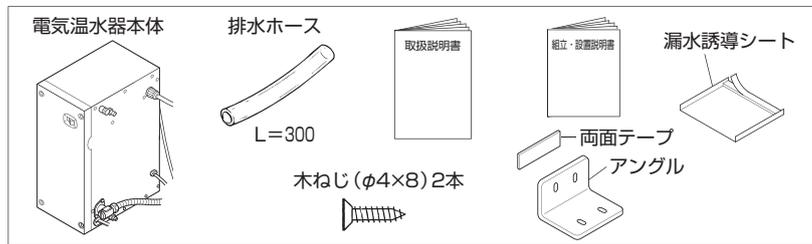


### 3) 付属部品明細

#### 洗面化粧台 LDA

水栓一式 自動水栓 1セット	止水栓 1個	給水ふた ※下のいずれかが付属しています			排水ふた ※下のいずれかが付属しています		
		ねじなしタイプ		ねじありタイプ	ねじなしタイプ		ねじありタイプ
		給水ふた (めっき管用)	給水ふた	ふた固定用ねじ (φ3×12)	排水ふた (φ32用)	排水ふた	ふた固定用ねじ (φ3×12)
		1個	1個	2本	1個	1個	3本
排水トラップ 1セット	防臭栓 1個	壁固定用ねじ (φ5.2×55) 2本		取扱説明書 1冊	連結管 1本		

#### 電気温水器



### 4) 設置上の注意

- 湿気が多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

### 5) 使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

### 6) あらかじめ必要な電気工事

- 電源は、AC100V (50/60Hz) 温水器消費電力600Wに適した配線をしてください。

#### 重要

※容量が足りない場合は別配線を設けてください。

- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

#### 警告

電気配線工事は、関連する法令にしたがって、必ず電気工事士の「有資格者」が行う  
必ず実行 正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

### 7) 取り付け条件

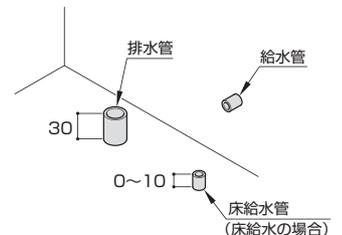
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

#### 重要

※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。

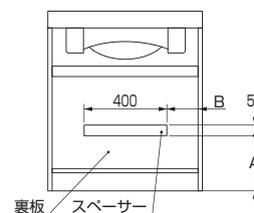
(壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴 (φ30~50×2箇所)、排水穴 (φ50) を穴あけてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。仕上げ面より下図要領で立ち上げてください。(排水管はVU40, VU50またはVP40, VP50をご使用ください。)



#### 【樹脂配管の場合】

※L066Rを使用するときは、スペーサーを下図の位置に取り付けてください。



洗面化粧台 製品品番	A	B
LDA606A	300	75
LDA606B	350	
LDA756A	300	150
LDA756B	350	

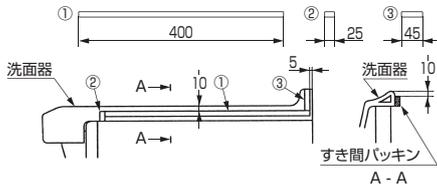


## 8) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

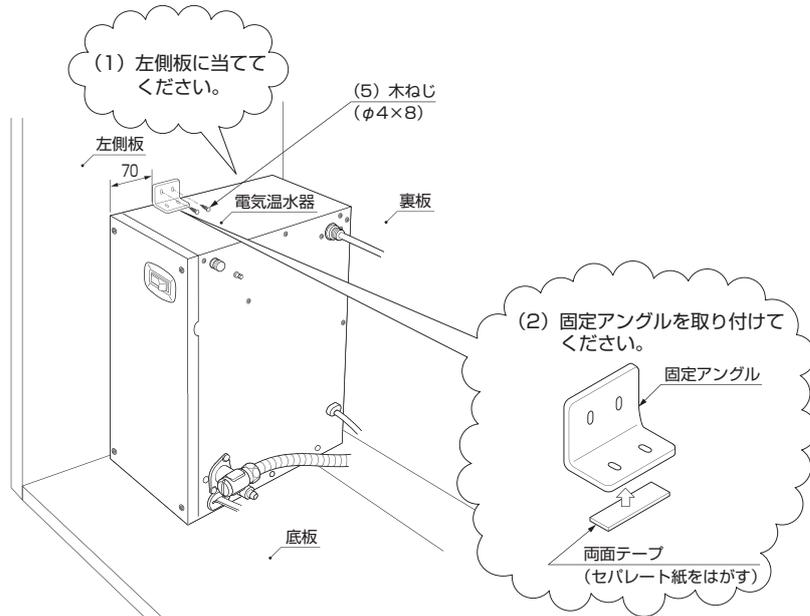
※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

### ① すき間パッキンの取り付け

- すき間埋めスパーサ(L078R)およびトールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスパーサおよびトールキャビネットに付属のパッキンを下記寸法にカットし洗面器に貼り付けてください。

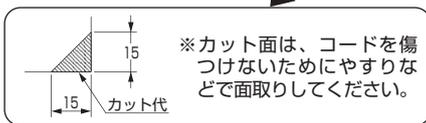
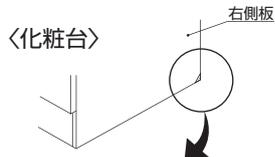


### ③ 電気温水器の取り付け



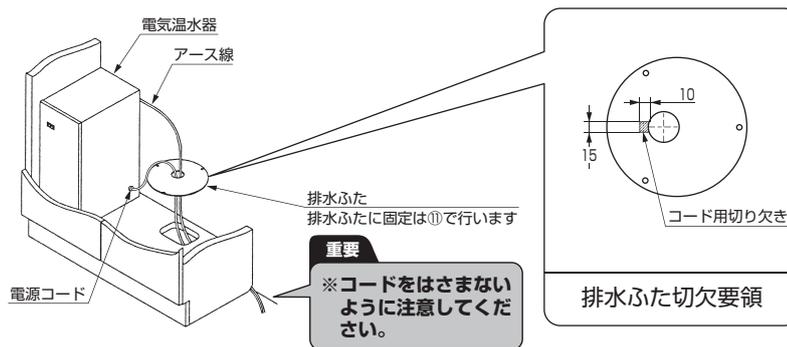
### ② 電源コード用の切り欠き

- 電源コードおよびアース線を取り出す側の側板を下図寸法でカットしてください。
- 下図の化粧台は、電源コードおよびアース線を化粧台に向かって右側に取り出す場合を示します。左側に取り出す場合は、これと対称になります。

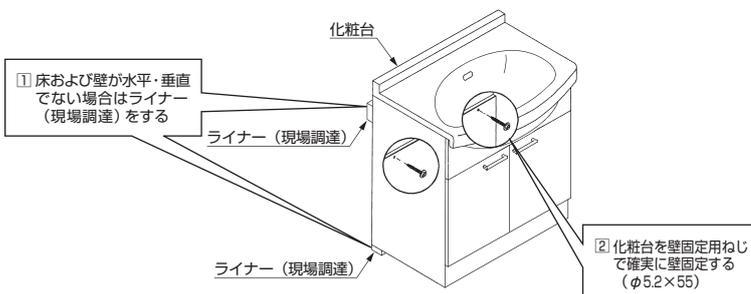


### ④ 洗面化粧台の取り付け

- (1) 電源コードおよびアース線を下図のように取り出してください。
  - 付属の排水ふたにコード用の切り欠きをつけてください。
  - コードは排水ふたを通し、切り欠き部よりキャビネットの外へ取り出してください。(下図参照)



- (2) 付属の壁固定用ねじ(2本)で壁固定してください。

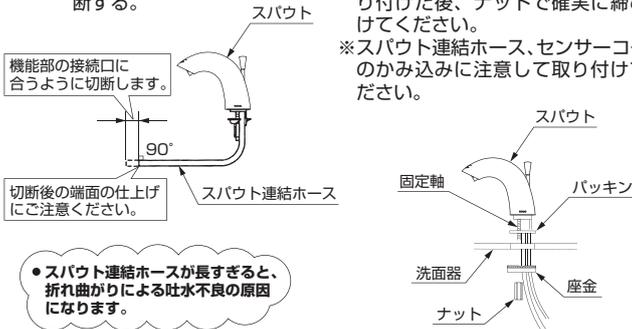


#### 重要

※商品は水平・垂直に取り付けてください。(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)

## ⑤ 水栓金具のカットおよび取り付け

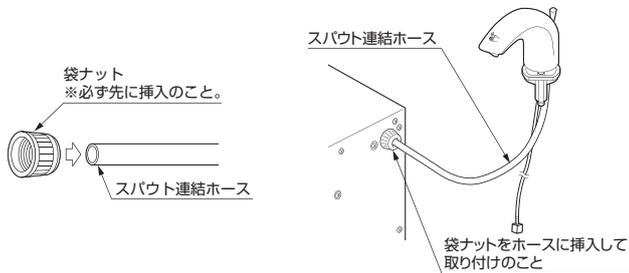
- (1) スパウト連結ホースを機能部の接続口に合うように適切な長さに切断する。
- (2) スパウトを洗面器に取り付けてください。  
 ●スパウト部取付下部から、座金を取り付けた後、ナットで確実に締め付けてください。  
 ※スパウト連結ホース、センサーコードのかみ込みに注意して取り付けてください。



●スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良の原因になります。

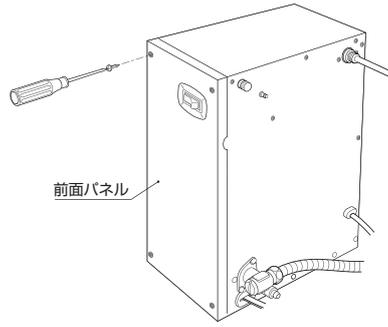
## ⑥ スパウト連結ホースの接続

- (1) スパウト連結ホースに袋ナットを差し込んでください。
- (2) スパウト連結ホースを電気温水器の出湯口に差し込んだ後、袋ナットを締め付けてください。  
 ※締め付けは、手締めにて行ってください。  
 ※スパウト連結ホースは、折れ曲がりのないように注意してください。

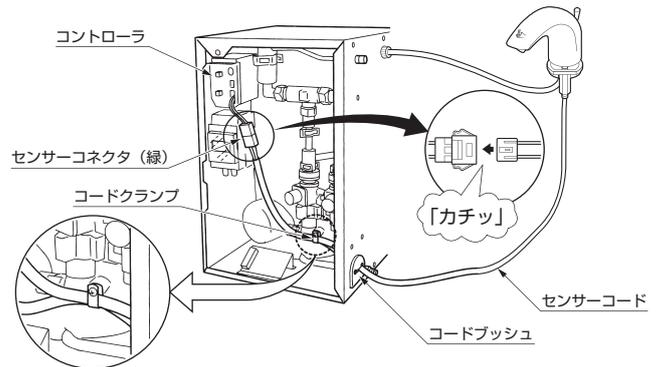


## ⑦ センサーコードの接続

- (1) 前面パネルを取り外してください。(ねじ4か所)



- (2) センサーコードをコードブッシュを通して、電気温水器内部に引き込み、コードクランプにて固定してください。  
 ※コネクタはカチッと音がするまで差し込んでください。



## ⑧ 水栓金具取り付け後の確認

※取付手順③～⑦まで完了しましたら下記確認ください。

- (1) 電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- (2) センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしない状態で、スパウト部のセンサー内LEDが点滅していないことを確認してください。  
 もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変えて、点滅しないところで再固定してください。
- (3) 電源を入れて約10分後にLED点滅は自動的に消えます。自動消滅する前にスパウトの向き調整作業が完了しなかった場合は、電源を入れ直して再度行ってください。  
 [注] 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、洗面器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)

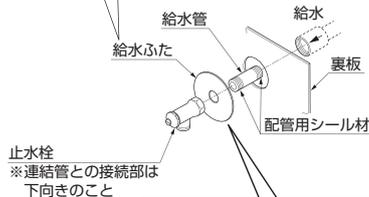


## ⑨ 止水栓の取り付け

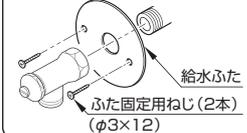
●止水栓は工具で確実に締め付けてください。

### 壁給水の場合

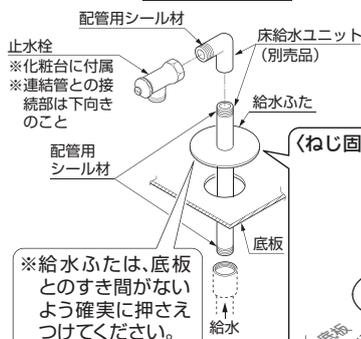
※給水ふたは、裏板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。



### 〈ねじ固定の場合〉

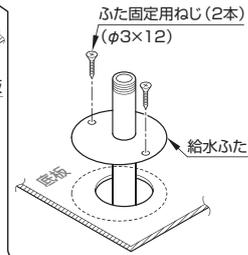


### 床給水の場合



※給水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

### 〈ねじ固定の場合〉



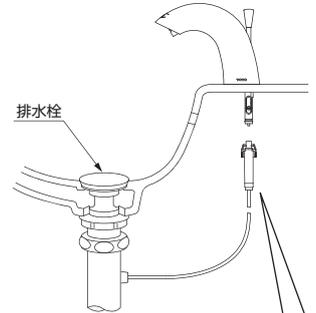
●樹脂配管対応はLO66Rに付属の施工説明書を参照してください。

### 重要

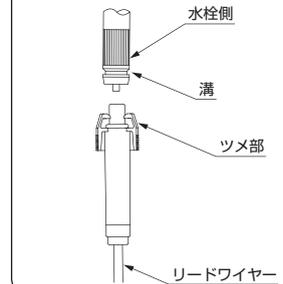
※床給水ユニットは洗面ボウル高さを確認して指定の床給水ユニットを使用してください。

※止水栓に付属の給水管は使用しません。

## ⑩ リードワイヤーの接続



リードワイヤー側のツメ部が溝に入るまで差し込んでください。



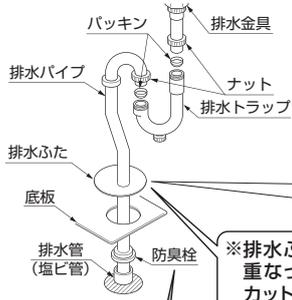
## 11 排水トラップの取り付け

- ナットは手で確実に締め付けてください。(工具は使用しないでください。)
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管とトラップの別売のアダプター(右表)で確実に接合してください。
- 防臭栓は、取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが発生し錆・異臭への原因になります。

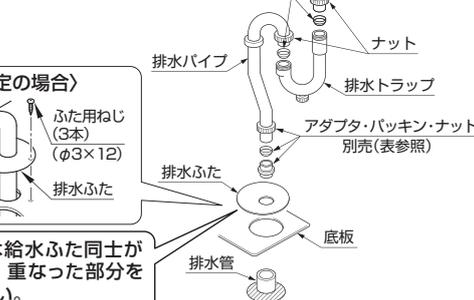
集合・高層住宅の場合

アダプタの種類	サイズ
T1122 (銅管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用

〈床排水の場合〉



〈集合・高層住宅の場合〉



〈ねじ固定の場合〉



※排水ふた、または給水ふた同士が重なった場合は、重なった部分をカットしてください。  
※排水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

**重要**

※防臭栓は、取り付け忘れ、すき間がないようにしてください。下水ガスが流入し錆・異臭の原因にもなります。

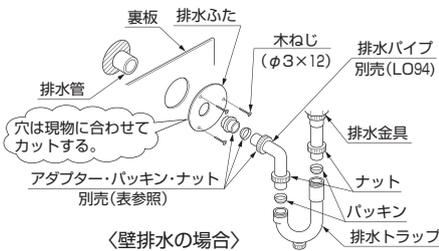
**注意**

パッキンの方向に注意する



必ず実行

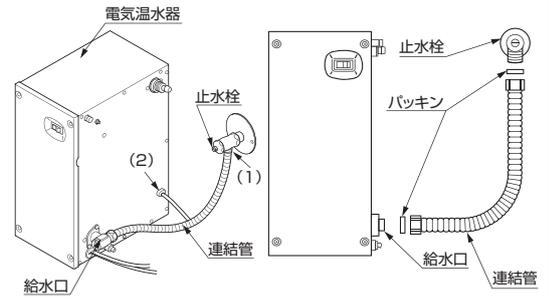
ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない  
水漏れの原因になります。



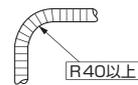
〈壁排水の場合〉

## 12 連結管の接続

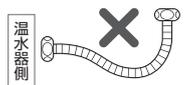
- (1) 止水栓と連結管を接続してください。
  - (2) 電気温水器の給水口と連結管を接続してください。
- 〔注〕給水口に接続する前に必ず、止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨ててください。(ゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因となります。)



連結管は極端に折り曲げないでください。

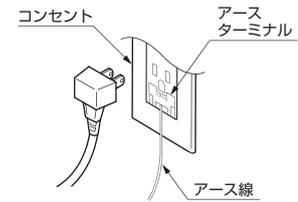


連結管は逆勾配にならないように取り付けてください。



## 13 アース線の接続

- アース線をアースターミナルに接続してください。

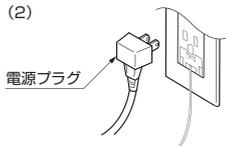


## 14 電気温水器への通水および通電確認

**重要**

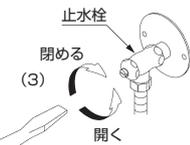
〔注〕タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れないでください。(空焚きとなり故障、やけどの原因になります。)

- (1) 電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- (2) 電源プラグ(電気温水器用)を、コンセントの根元まで確実に差し込んでください。



〔注〕タンクへの給水が完了するまで、電源スイッチは「切」のままにしておいてください。

- (3) 止水栓を開けてください。



- (4) タンク給水スイッチを押してタンクを満水にしてください。

※タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。満水状態になると吐水状態は安定します。(満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。)



- ① センサーを動作させると初めは断続的に吐水されます。
- ② 水がいきおいよく出てくるとタンクは満水です。

**注意**

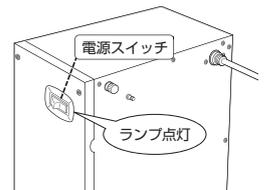
- タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。(途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。)約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。
- 吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

- (5) スパウトの動作確認をしてください。

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
- センサー前面から約4cmの位置に手をかざしたままにすると、その間(約1分間)連続して水がでます。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないまましていると約15秒で水が止まります。)

- (6) 配管接続部に水漏れがないか確認してください。

- (7) 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



## 9) 電気温水器の水抜き方法

〈水抜きの前に〉

### 重要

必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。  
(空焚きとなり故障、やけどの原因になります)  
タンク給水スイッチを押して(又はスパウトのセンサー部に手をかざして)必ずタンク内の湯をスパウトから出しきってください。  
(タンク内に湯が残っていると、やけどをするおそれがあります)  
※スパウトから水が出はじめるまで、出湯してください。

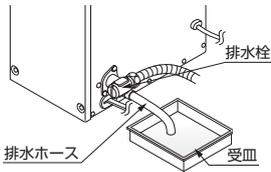
〈水抜手順〉

- (1) 湯を使い切ったら、止水栓を右に回して閉めてください。

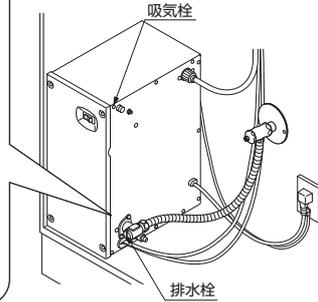


- (2) 排水栓に付属の排水ホースを差し込み、左に回してください。その後吸気栓を左に回して開けると排水を開始します。(吸気栓は外してください。)  
(タンクが満水の場合、水抜きは約8分かかります)

- 1 付属の排水ホースを排水栓に接続し受皿を置いてください。



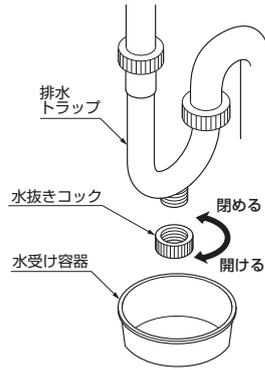
- 2 排水栓および吸気栓をいっばいに開いてタンク内の水を抜き、排水ににごりがないか確認してください。



- (3) 排水栓を閉じてください。  
(4) 吸気栓を確実に閉めてください。

## 10) 排水トラップの水抜き方法

- ①水受けの容器を置き、水抜きコックを開いてください。  
②水抜き後は必ず水抜きコックを手で確実に閉めてください。



### 注意



水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない  
必ず実行 水漏れの原因になります。

## 11) 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、排管内部の詰まり、配管接続部に水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

### 重要

シンナー・ベンジン・除光液などの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

- 扉の段差・ガタの確認をしてください。段差・ガタが発生している場合は、調整をしてください。
- 直射日光にさらされる場所は必ずカーテンなどで遮ってください。